

第5章 | 重点プロジェクト

令和6年度から本格的に取り組んでいる「グリーン成長プロジェクト」では、再造林の推進に関する基本理念を定め、県の責務並びに関係者の役割を明らかにする宮崎県再造林推進条例を制定するとともに、産学官と県民が一丸となって抜本的な再造林対策を進める「宮崎モデル」の構築を進めています。この取組は、プロジェクト終了後の令和9年度以降も継続的に推進する必要があることから、以下のとおり、グリーン成長プロジェクトの4つの柱を本計画の重点プロジェクトとして、引き続き取り組むこととします。

【重点プロジェクト】

重点1 再造林の推進に向けた意識醸成と支援体制等の充実

重点2 再造林を支える担い手・経営体の確保

重点3 林業採算性の向上を図る新技術等の実装

重点4 循環型林業に不可欠な県産材需要の拡大



【宮崎県再造林推進条例の概要】

条例の概要

基本理念(第3条)

再造林の理解促進

効率化の推進、県産材需要の拡大

担い手の処遇と労働環境の向上

関係者の適切な役割分担と相互の連携

各主体の責務・役割(第4条～第9条)

県

施策の総合的かつ計画的な実施や市町村の実施する施策への協力、森林組合及び事業者の取組の促進など

市町村

県、事業者、森林所有者等との連携や情報の共有、地域の特性を踏まえた再造林の推進に関する施策の実施など

森林所有者

所有する森林についての再造林の推進や県及び市町村が実施する施策への協力など

森林組合

森林所有者からの伐採等の相談対応や事業者等との連携、市町村等との連絡調整など

事業者

森林組合等との連携や県産材の積極的な活用、木材産業の振興事業活動を通じた再造林の推進など

県民

県産材の積極的な利用など

基本施策(第10条～第14条)

再造林の推進に向けた気運の醸成

県民等が一丸となって再造林を推進する気運の醸成

効率化の推進

林業採算性が高い森林を優先的に再造林する区域の設定や森林の集積・集約化の推進、新しい技術の導入等への必要な施策や試験研究、技術開発の推進

県産材需要の拡大

木造住宅の普及及び非住宅施設の木造化等の推進や試験研究、技術開発の推進

担い手・事業者の確保

林業担い手の処遇及び労働環境の改善のための施策や多様な担い手確保のための施策、造林事業に取り組む事業者や新たに造林事業へ参入する事業者等への支援

地域体制の整備

森林組合を中心とした森林所有者からの伐採等の相談対応等を行う地域体制の整備

重点1 再造林の推進に向けた意識醸成と支援体制等の充実

県内森林所有者の大半が小規模・分散的で効率的な経営が困難であるがゆえに、多くの森林所有者の経営意欲が低下しています。こうした森林で持続的な森林経営を図るには、経営意欲のある者への森林の集積とともに、再造林強化区域への重点的支援が必要です。

概要

県民や関係者の再造林への意識の醸成を図りながら、地域再造林推進ネットワークが核となり、伐採跡地情報の共有や伐採者と造林者の連携を図るとともに、充実した支援により再造林を推進します。また、経営意欲のある者への林地の集積と施業の集約化に取り組みます。

取組項目1 再造林の意識醸成

1	新聞広告やチラシ等の配布、啓発動画のインターネット配信等
2	省力・低コスト再造林に係る研修や意見交換、優良事例の周知等
3	幅広い世代への「森林環境教育」の実施

取組項目2 地域再造林推進ネットワークの活動推進

1	会員の確保や情報共有、再造林の調整等のネットワーク活動への支援
2	地域ごとの実情に応じた伐採者と造林者の連携強化
3	森林所有者からの相談等への対応に係る支援

取組項目3 再造林への支援充実

1	市町村と連携した造林、下刈りに対する嵩上げ支援
2	植栽未済地のうち林業採算性の高い区域における灌木等の除去への支援
3	伐採から搬出及び造林作業の連携に対する支援
4	水源地等の上流域で放置された伐採跡地における広葉樹造林への支援

取組項目4 林地の集積・施業の集約化の推進

1	経営意欲のある者への集積・集約化に係るモデル的実証
2	森林の相続等の相談事例の収集や分類、対応手順の検討

指標

項目	現況値 令和6年度	目標値 令和12年度
	再造林率(%)※	79
地域再造林推進ネットワーク会員数(事業体)	173	400
経営意欲のある者への集積・集約化に係るモデル的実証面積(ha)	0	50

※R4年度:75%、R5年度:78%

重点2 再造林を支える担い手・経営体の確保

再造林に取り組む林業経営体や造林作業員が不足しているため、新たに造林作業を行う林業経営体の支援や労働力の確保を図る取組が必要です。また、林業労働災害防止に向けて、安全・安心な職場環境の構築が必須となっています。

概要

情報発信や林業体験等により就業のきっかけを作り、みやざき林業大学校での研修等を通じて、林業への就業者を確保・育成するとともに、再造林を支える造林作業員の待遇や就労環境の改善を促し、異業種や都市部等からの新規参入を推進します。

また、経営感覚に優れ、環境に配慮した施業や再造林を実施することができる林業経営体を育成します。

取組項目1 新規参入者の確保

1	ガイダンスや就業相談会等の開催及びリクルートブック等の活用
2	SNSやHPを活用した「魅力ある林業」の発信
3	高校生向けの林業体験や造林作業におけるインターンシップの実施
4	みやざき林業大学校における即戦力となる人材の確保・育成

取組項目2 造林作業員の就労環境改善

1	月給制や週休2日制の導入促進、作業員の所得向上への取組支援
2	福利厚生施設や通信機器の導入等による働きやすい就労環境の整備の推進
3	ドローンを活用した苗木等の運搬、機械化による省力化・軽労化の推進

取組項目3 多様な担い手の確保・育成

1	林業イノベーションなどによる異業種や都市部等からの就業促進
2	林業への外国人材の受入れに向けた制度の周知や支援体制の構築
3	森林ボランティア団体等による森林づくり活動の推進

取組項目4 林業経営体の確保・育成

1	「ひなたのチカラ林業経営者」や「認定林業事業者」の確保・育成
2	再造林に取り組む林業経営体に対する資機材等の整備や造林・保育作業に従事する新規就業者の継続雇用の支援
3	森林組合運営の活性化や販売事業の拡大等による経営基盤の強化

指標

項目	現況値	目標値
	令和6年度	令和12年度
みやざき林業大学校研修受講者数(累計)(人)	2,965	5,419
15歳以上70歳未満の林業就業者数(人)	2,117	2,000
新規林業就業者数(人)	166	150
林業イノベーションに取り組む事業者数(累計)(者)	64	87

重点3 林業採算性の向上を図る新技術等の実装

林業採算性の低さにより再造林経費の捻出が困難な状況であることから、林地の集積や施業の集約化のほか、新しい技術を積極的に取り入れた採算性の高い林業経営の推進や省力化・軽労化造林技術の普及等が必要となっています。

概要

活着が良く通年植栽が可能なコンテナ苗等の優良苗木の安定確保、機械地拵えや低密度植栽等による省力・低コスト再造林の普及・定着を図ります。

また、森林クラウドシステム等のデジタル情報基盤の構築やICT等を活用した効率的な森林施業の取組などのスマート林業を推進します。

取組項目1 優良苗木の安定的な供給体制の構築

1	苗木生産者に対する生産施設や生産経費の支援によるコンテナ苗の生産拡大
2	体系化した連続的な研修による経営的に安定した中核的な苗木生産者の育成
3	自家採穂園 ¹⁴⁴ の整備やDNA分析の支援による品種の明確な花粉症対策苗木の安定供給体制の構築

取組項目2 省力・低コスト再造林の普及・定着

1	伐採で使用した機械を地拵え等に用いる機械地拵えや、コンテナ苗を活用した通年植栽の推進
2	林業採算性の高い区域における1ha当たり2,000本以下とする低密度植栽の定着
3	植栽後4回目以上の下刈りは必要な場合のみ実施するなど下刈り回数削減の促進

取組項目3 スマート林業の推進

1	森林クラウドシステムの機能強化やオープンデータ化等の推進
2	レーザ計測による森林資源量等の把握や解析データを路網整備及び森林整備等に利活用する取組の推進
3	ドローンを活用した森林調査や測量などの省力化・軽労化技術の普及啓発

指標

項目	現況値	目標値
	令和6年度	令和12年度
コンテナ苗木生産量(万本)	296	372
造林と伐採の連携による再造林面積(ha)	384	500
林業イノベーションに取り組む事業者数(累計)(者)再掲	64	87
ICTを活用した森林管理・調査に取り組む事業者数(累計)(者)	22	40

¹⁴⁴ 自家採穂園:さし木に用いる穂木を採取するための採穂木を苗木生産者自身の所有地にまとめて植栽した樹木園のこと。

重点4 循環型林業に不可欠な県産材需要の拡大

森林所有者の再造林意欲を喚起するためには、県産材需要を高め、木材価格を高い水準で維持することにより森林所有者の伐採による所得の向上を図り、再造林や育林の費用を確保することが必要です。

概要

「伐って、使って、植えて、育てる」循環型林業には確固たる木材需要が必要不可欠であることから、品質・性能の確かな製材品の効率的かつ安定的な供給体制を構築します。

また、国内の住宅需要の減少が見込まれる中、非住宅・非建築分野での木材利用及び県産材製品の輸出により、県産材需要の拡大を図ります。

取組項目1 JAS材、人工乾燥材、集成材¹⁴⁵等の効率的かつ安定的な生産体制の構築

- | | |
|---|---|
| 1 | 人工乾燥機の導入や天然乾燥 ¹⁴⁶ 土場の整備、製品保管庫の設置 |
| 2 | JAS材など高品質材の安定供給に向けた製材ラインの整備や製品流通の合理化・効率化 |
| 3 | 大径材の利用を含め木材加工の省力化・効率化等に向けた施設の整備 |

取組項目2 共同出荷等による物流の効率化・低コスト化

- | | |
|---|---|
| 1 | 山元から製材等までの情報・流通ネットワークの構築 |
| 2 | 製材工場とプレカット工場等の連携、共同出荷による輸送の効率化など、関係者の連携による流通システムの構築 |
| 3 | 需要者ニーズに応えるマーケットイン型等の製品流通体制づくり |

取組項目3 非住宅・非建築分野における県産材の利用拡大

- | | |
|---|-------------------------------|
| 1 | 木造建築の高い設計スキルを持つ建築士の育成 |
| 2 | JAS材の供給体制の整備 |
| 3 | 中大規模建築などの非住宅、家具などの非建築分野での利用拡大 |

取組項目4 県産材製品の輸出拡大

- | | |
|---|---|
| 1 | 高度な木材加工技術を活かした、より付加価値の高い県産材製品の輸出拡大 |
| 2 | 韓国からのバイヤーの招へいや技術研修会の開催による建築技術者への支援、企業等のプロジェクト支援 |
| 3 | 台湾での商談会等の開催や輸出相談員の設置、常設展示場の開設、木材関係団体との連携構築 |
| 4 | 中国、ベトナム、米国等への県産材輸出可能性調査や企業等による海外市場開拓 |

¹⁴⁵ 集成材：鋸挽きされた板状の製材（ラミナ）を、ラミナの繊維方向がほぼ平行になるように積み重ねて接着した木質材料。

¹⁴⁶ 天然乾燥：人工乾燥のような熱源を使わず、大気中で棧積みなどをして材間の風通しをなるべく良くして乾燥させる乾燥方法。

指 標

項 目	現況値	目標値
	令和6年度	令和12年度
人工乾燥材率 (%)	64.1	64.2
製材品の全国シェア (%)	11.6	13.0
公共建築物における木造率 (%)	23.2	35.0
県産材の製品輸出額 (百万円)	619	1,000

第1章
計画改定にあたって

第2章
森林・林業・木材産業
を取り巻く諸情勢

第3章
計画の目標と
施策の基本方向

第4章
基本計画

第5章
重点プロジェクト

第6章
地域計画

第7章
計画の実現に向けて

第8章
資料編